

製品名: ウィルムス腫瘍タンパク質 (13C17) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe19901**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:20-1:50,FC 1:20-1:50
分子量	49kDa

抗原情報

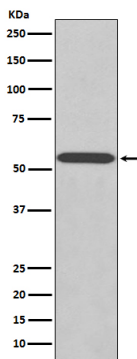
遺伝子名	WT1
別名	GUD; AWT1; WAGR; WT33; NPHS4; WIT-2; EWS-WT1;
遺伝子 ID	7490.0
SwissProt ID	P19544
免疫原	ヒトウィルムス腫瘍タンパク質の合成ペプチド

背景

泌尿生殖器系の正常な発達に不可欠な役割を果たし、ウィルムス腫瘍患者のごく一部で変異が認められる。この遺伝子は、複雑な組織特異的かつ多型のインプリンティングパターンを示し、異なる組織において母系および父系の対立遺伝子から両対立遺伝子および一対立遺伝子発現を示す。複数の転写バリエーションが報告されている。いくつかのバリエーションでは、最初の AUG の上流かつインフレームに位置する非 AUG (CUG) 翻訳開始部位が使用されていることが示唆されている。細胞発達および細胞生存に重要な役割を果たす転写因子 (PubMed:7862533)。DNA 配列 5'-GCG(T/G)GGGCG-3' を認識し、結合する (PubMed:7862533、PubMed:17716689、PubMed:25258363)。EPO を含む多数の標的遺伝子の発現を調節する。泌尿生殖器系の発達に不可欠な役割を果たす。腫瘍抑制因子としての役割に加え、腫瘍形成において発癌性も有する。機能はアイソフォーム特異的である可能性があり、KTS モチーフを欠くアイソフォームは転写因子として作用する可能性がある (PubMed:15520190)。KTS モチーフを含むアイソフォームは mRNA に結合し、mRNA 代謝またはスプライシングに関与する可能性がある (PubMed:16934801)。アイソフォーム 1 は DNA への親和性が低く、RNA に結合する可能性がある (PubMed:19123921)。

研究分野

画像データ



K562 細胞溶解物中の WT1 発現のウェスタン ブロット解析。